

本アンケートは、

人材編

になります。

【人材編のアンケート内容】

- ・企業変革のための組織開発
- ・企業変革を推進する人材の状況(量、質、教育など)

*記入いただいた内容は統計的に処理致します。従いまして、ご回答頂きました方の個人名や企業名などが外部（IPA含む）に公表されることはありません。

①企業名	
②住所 〒	
③TEL	④部署名
⑤氏名	⑥役職
⑦E-mail	
⑧サマリ <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない	

貴社プロフィールについて

Q1.最も当てはまる業種1つに○を付けてください。(ひとつだけ)

1. 農業, 林業	2. 漁業
3. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	4. 建設業
5. 製造業	6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業	8. 運輸業, 郵便業
9. 卸売業, 小売業	10. 金融業, 保険業
11. 不動産業, 物品賃貸業	12. 学術研究, 専門・技術サービス業
13. 宿泊業, 飲食サービス業	14. 生活関連サービス業, 娯楽業
15. 教育, 学習支援業	16. 医療, 福祉
17. 複合サービス事業	18. サービス業 (他に分類されない)
19. 公務 (他に分類されるものを除く)	

Q2.貴社決算期における2020年度の単体売上高について、最も当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(ひとつだけ)

1. 50億円未満
2. 50億円以上100億円未満
3. 100億円以上300億円未満
4. 300億円以上500億円未満
5. 500億円以上1,000億円未満
6. 1,000億円以上

Q3.従業員数(正規社員のみ)について、最も当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(ひとつだけ)

1. 30人以下
2. 31人以上100人以下
3. 101人以上300人以下
4. 301人以上1,000人以下
5. 1,001人以上

Q4.回答される方の所属部門について、最も当てはまる選択肢1つに○を付けてください。(ひとつだけ)

1. 経営層	2. 経営企画部門
3. 事業系部門	4. 情報システム部門
5. 営業・マーケティング部門	6. 研究・開発部門
7. その他 ()	

企業変革のための組織開発

Q5.企業変革を推進する人材についてお伺いします。

(1)変革を推進する人材を獲得・維持し、継続的に組織開発を行うために企業が社員から求められることについて、各項目(以下1~22)で当てはまるものに○を付けてください。(それぞれひとつ)

(2)貴社で優先度が高いものについて、全22項目から5つまで選択して○を付けてください。(5つまで)

	(1)			(2)
	強く求められる	どちらとも言えない	特に求めない	優先度が高いもの(5つまで○を付ける)
【企業の文化や企業で重視される価値観に関すること】				
1. 職位間や部門間含め社内の風通しがよく、課題認識含めた情報共有がうまくいっている				
2. 多様な価値観を受容する				
3. リスクを取り、チャレンジすることが尊重される				
4. 企業の目指すことのビジョンや方向性が明確で社員に周知されている				
5. 意思決定のスピードが速い				
6. 役員間のコミュニケーションが活発である				
【自身の業績や貢献が適正に評価される】				
7. 個人の業績や貢献が適正に評価される				
8. 世間的に見て報酬水準が高い				
9. 高いスキルを持っていることが報酬に反映される				
【働く環境に関すること】				
10. オフィスの設備や機材が充実している				
11. 一緒に仕事をしたいと思う仲間や上司がいる				
12. 仕事を楽しんでいる同僚や上司が多い				
13. 個人の事情に合わせた柔軟な働き方ができる				
【人材開発(スキルアップ、自己の成長等)に関すること】				
14. 成長している企業で将来性がある				
15. 業績が安定している				
16. 雇用不安がない				
【組織の将来性や業績に関すること】				
17. 新しいスキルを習得することが奨励される				
18. 学習を支援する制度やプログラムが充実している				
19. 様々な挑戦の機会があり中長期的な自己の成長が期待できる				
【自身が携わる仕事に関すること】				
20. 個人の裁量が大きい				
21. 最先端の仕事ができる				
22. 自分が携わる仕事を選べる仕組みがある				

Q6,企業変革を推進する人材を獲得・維持し、継続的に組織開発を行うために求められることについてお伺いします。下記項目(以下 1~22)について、貴社社員の満足度について当てはまると思う項目に○を付けてください。(それぞれひとつ)

	満足している	どちらとも言えない	不満である
【企業の文化や企業で重視される価値観に関すること】			
1. 職位間や部門間含め社内の風通しがよく、課題認識含めた情報共有がうまくいっている			
2. 多様な価値観を受容する			
3. リスクを取り、チャレンジすることが尊重される			
4. 企業の目指すことのビジョンや方向性が明確で社員に周知されている			
5. 意思決定のスピードが速い			
6. 役員間のコミュニケーションが活発である			
【自身の業績や貢献が適正に評価される】			
7. 個人の業績や貢献が適正に評価される			
8. 世間的に見て報酬水準が高い			
9. 高いスキルを持っていることが報酬に反映される			
【働く環境に関すること】			
10. オフィスの設備や機材が充実している			
11. 一緒に仕事をしたいと思う仲間や上司がいる			
12. 仕事を楽しんでいる同僚や上司が多い			
13. 個人の事情に合わせた柔軟な働き方ができる			
【人材開発（スキルアップ、自己の成長等）に関すること】			
14. 成長している企業で将来性がある			
15. 業績が安定している			
16. 雇用不安がない			
【組織の将来性や業績に関すること】			
17. 新しいスキルを習得することが奨励される			
18. 学習を支援する制度やプログラムが充実している			
19. 様々な挑戦の機会があり中長期的な自己の成長が期待できる			
【自身が携わる仕事に関すること】			
20. 個人の裁量が大きい			
21. 最先端の仕事ができる			
22. 自分が携わる仕事を選べる仕組みがある			

企業変革を担うリーダー／社員の状況

Q7. 企業変革を推進するためのリーダーについてお伺いします。リーダーにあるべきマインド及びスキルとして、貴社で重視することを5つまで選択してください。(5つまで)

1. 変化志向	2. 業績志向
3. 顧客志向	4. 市場志向
5. 戦略的思考	6. テクノロジーリテラシー
7. コミュニケーション能力	8. リーダーシップ
9. 意思決定能力	10. ハイパーアウェアネス (察知力)
11. 自律性	12. 実行力
13. 危機意識	14. モチベーション
15. その他 ()	

Q8. 企業変革を推進する人材についてお伺いします。貴社の事業戦略上、変革を担う人材の「量」を十分に確保できていますか。(ひとつだけ)

1. 大幅に不足している
2. やや不足している
3. 過不足はない
4. やや過剰である
5. わからない

Q9. 企業変革を推進する人材についてお伺いします。貴社の事業戦略上、変革を担う人材の「質」を十分に確保できていますか。(ひとつだけ)

1. 大幅不足している
2. やや不足している
3. 過不足はない
4. わからない

デジタル事業に対応する人材を下記表1のように分類した場合、以下の設問に回答ください。

表1 デジタル事業に対応する人材

人材名	説明
プロダクトマネージャー	デジタル事業の実現を主導するリーダー格の人材
ビジネスデザイナー	デジタル事業（マーケティング含む）の企画・立案・推進等を担う人材
テックリード（エンジニアリングマネージャー、アーキテクト）	デジタル事業に関するシステムの設計から実装ができる人材
データサイエンティスト	事業・業務に精通したデータ解析・分析ができる人材
先端技術エンジニア	機械学習、ブロックチェーンなどの先進的なデジタル技術を担う人材
UI/UX デザイナー	デジタル事業に関するシステムのユーザー向けデザインを担当する人材
エンジニア/プログラマ	デジタル事業に関するシステムの実装やインフラ構築、保守・運用、セキュリティ等を担う人材

Q10. デジタル事業に対応する人材についてお伺いします。下記人材について、貴社では「量」を十分に確保できていますか。一つずつ○を付けてください。（それぞれひとつ）

	大幅に不足している	やや不足している	過不足はない	やや過剰である	わからない	自社には必要ない
1. プロダクトマネージャー						
2. ビジネスデザイナー						
3. テックリード（エンジニアリングマネージャー、アーキテクト）						
4. データサイエンティスト						
5. 先端技術エンジニア						
6. UI/UX デザイナー						
7. エンジニア/プログラマ						

Q11. Q10 で「大幅に不足している」～「わからない」を選択した項目についてお伺いします。（「自社には必要ない」を選択した項目は回答不要です。）

デジタル事業に対応する人材についてお伺いします。下記人材について、貴社では「質」を十分に確保できていますか。一つずつ○を付けてください。（それぞれひとつ）

	大幅に不足している	やや不足している	過不足はない	わからない
1. プロダクトマネージャー				
2. ビジネスデザイナー				
3. テックリード（エンジニアリングマネージャー、アーキテクト）				
4. データサイエンティスト				
5. 先端技術エンジニア				
6. UI/UX デザイナー				
7. エンジニア/プログラマ				

Q12. デジタル事業に対応する人材についてお伺いします。貴社で重要と考え、育成したい人材について、下記から1位、2位をそれぞれ選択してください。（それぞれひとつ）

1位	2位
1. プロダクトマネージャー	
2. ビジネスデザイナー	
3. テックリード（エンジニアリングマネージャー、アーキテクト）	
4. データサイエンティスト	
5. 先端技術エンジニア	
6. UI/UX デザイナー	
7. エンジニア/プログラマ	

Q13. 企業変革を推進する人材についてお伺いします。貴社では、変革を担う人材を評価・把握するための基準はありますか。(ひとつだけ)

また、基準がある場合は、具体的な内容を書いてください。(自由記述)

1. 基準がある	→ 【基準の具体的な内容】
2. 基準はない	
3. わからない	

Q13 で「1. 基準がある」を選択した企業にお尋ねします。

SQ13. 企業変革を推進する人材を評価・把握するための基準について、貴社では評価結果を処遇に連動・反映させる仕組みはありますか。(ひとつだけ)

また、処遇に連動・反映させる仕組みがある場合は、具体的な方法を書いてください。(自由記述)

1. 処遇に連動・反映させる仕組みがある	→ 【具体的な方法】
2. 処遇に連動・反映させる仕組みはないが、人事評価の参考情報の一つにしている	
3. 処遇に連動・反映させる仕組みはない	
4. わからない	

すべての企業にお尋ねします。

Q14. 自社の平均的な社員のレベルを想定した場合、人材市場における自社社員の競争力について、どのようにお考えですか。(ひとつだけ)

なお、ここで言う社員とは、次のいずれかに該当する人材を指し、ITに関連しない人材は含みません。

- ・IT 企業やネットビジネス企業に所属する研究者やエンジニア
- ・一般の事業会社の情報システム部門に所属し IT 業務に携わる人材
- ・IT を活用して新規事業創造、新技術・製品の研究・開発、既存製品・サービスの付加価値向上、業務の QCD 向上などを行う人材

1. 十分な競争力がある
2. 競争力は高くない
3. わからない
4. その他 ()

Q15. 企業変革を推進する人材についてお伺いします。貴社では、企業変革を推進する人材のキャリアサポートについて、どのようなことを実施していますか。(あてはまるもの全て)

1. キャリアパスの整備
2. キャリア教育
3. キャリア面談
4. キャリアアドバイザー (上司以外) の設置
5. 日常での 1on1 (上司と部下との定期的な個人面談)
6. キャリアサポートを実施していない
7. 変革を推進していない
8. その他 ()

Q16.社員の学び直し(リスキル)についてお伺いします。AI、IoT、データサイエンス等の先端技術に関するスキルの領域について、貴社の方針をご回答ください。(ひとつだけ)

1. 全社員対象での実施
2. 会社選抜による特定社員向けの実施
3. 社員の立候補による特定社員向けの実施
4. 実施していないが検討中
5. 実施していないし検討もしていない
6. その他 ()

Q17.従業員体験価値(EX)の向上に向けた取組みについて、貴社の状況をご回答ください。(ひとつだけ)

1. 社内ルールや制度に EX 向上を組み込み、企業文化として定着している
2. 社内ルールや制度に EX 向上を組み込み、定着に向けて取組んでいる
3. 社内ルールや制度に EX 向上を組み込むための取組みを実施している
4. EX 向上の取組みを試行している
5. EX 向上の取組みを実施していない
6. その他 ()

ITリテラシー・テクノロジーへの理解について

Q18.社員のデジタルへの理解、ITリテラシーについてお伺いします。

Q18-1.貴社では、社員のITリテラシーレベルを認識・把握されていますか。(ひとつだけ)

1. 認識・把握している
2. だいたい把握している
3. 認識していないが、今後、認識・把握しようとしている
4. 認識しておらず、当面、把握する予定もない

Q18-2.貴社では、社員のITリテラシーの向上に関する施策を行っていますか。(ひとつだけ)

1. 社内研修・教育プランを実施している
2. 社外研修の受講を実施、推奨している
3. 実施していない
4. その他 ()

Q18-3.自社のITリテラシーの向上について、重要だと考える取組みを選んでください。(ひとつだけ)

1. 変革を担う人材(役員、管理者、担当者など)全てがテクノロジーへの深い理解(リテラシー)を身につけること
2. IT部門に加え、ITシステムを活用する事業部門がテクノロジーを理解したうえで業務を行うこと
3. IT部門がテクノロジーへの理解を専門的に向上させること
4. その他 ()

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。